

牧草と園藝



稲作転換草地

稲作転換のエースは牧草です

- ◎ 牧草導入の有利性
 - 省力的で作りやすい。
 - 地力増進効果も高い。
 - 家畜導入により安定した複合経営実現

適草種と適品種を利用した本格良好草地を造成しましょう。

◎ 雪印の水田転換用混播種子セットを御利用下さい。(便利でお得, 1袋10アール分)

セット型	草種(品種)	播種量	利用年限	特徴
水田イ型	イタリアンライ(マンモスB)	2.5kg	1年	●排水の良くない湿潤地にも適する。
	ラジノクローバ(カリフォルニア)	0.5		
		計 3.0		
水田ロ型	チモシー(ホクオウ)	1.5	2~5年	●チモシー主体草地。 ●やや湿潤地にも適する。
	メドウフェスク(トレーダー)	0.5		
	アルサイククローバ(普通種)	0.5		
		計 2.5		
水田ハ型	オーチャードグラス(フロンティア)	1.5	2~5年	●オーチャード主体草地 ●排水の良い乾燥地に適する。
	メドウフェスク(トレーダー)	0.5		
	アカクローバ(ハミドリ)	1.0		
		計 3.0		
水田ニ型	メドウフェスク(トレーダー)	1.5	多年	●機械の入りづらい湿潤地に適する。 ●永年利用が前提となる。
	トールフェスク(K. 31. F)	1.0		
	ラジノクローバ(カリフォルニア)	0.3		
		計 2.8		

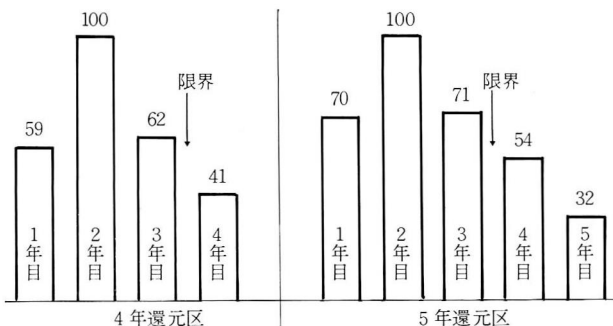
注 ①1~5年利用、多年利用草地で初年目収量を高めるためには、上記混播(セット)にイタリアン(マンモスB)を10a当たり0.3kg混播しますと、春まきで播種後2カ月で1番刈りができ、1番刈りだけで2~3tの収量が期待できます。

転換草地造成のポイント

- ① 基盤整備は生産性・利用効率を高める
 - 転作畑の集団化をすすめる。
 - できるだけ排水を良くする。
 - 犁底盤の破碎。
- ② 土壌改良資材の投入
 - 有機質、堆肥の補給。
 - 炭カル200~300、燐50(kg/10a)を耕土に混合する。
 - 施肥量、牧草施肥標準を準用し、窒素はややひかえる。
- ③ 碎土・整地はていねいに
 - 水田土壌は乾くと固化するので、堅くならないうちに、碎土・整地をていねいに行なう。
- ④ 播種はムラなく均一に
- ⑤ 覆土、特に鎮圧が必要です。
 - 覆土の厚さは種子の大ききの約3倍が基準。ローラー鎮圧により発芽・初期生育が良好となる。

古い稲転草地は更新しましょう(水田での経済的利用年限は3年が限界)

水田転換混播牧草の年次収量推移(グライ土壌, 燐リン施用)



(北海道中央農試成績)

混播組合せ共通

- オーチャードグラス 1.8
- ベレニアルライ 1.0
- アカクローバ 1.0
- ラジノクローバ 0.3

青粘土層の多い土壌では3年目以降の収量低下が甚だしい。
しかし、更新によって畑地土壌化が促進され、土地の生産力、牧草の利用年限も高まってくる。